

# 入隊後の生活を先輩から聞く 合格者に対し駐屯地見学を実施



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、12月4日（金）陸上自衛隊相馬原駐屯地において駐屯地見学を実施しました。これは、陸上自衛隊の採用試験合格者に対し、駐屯地内の部隊及び生活環境等を紹介するとともに、入隊までの流れや訓練内容などを説明して入隊前の疑問や不安を払しょくすることを目的に、相馬原駐屯地各部隊の支援を受け実施したものです。

当日は、新潟地本募集課（課長 2海佐 佐川豊徳）の案内により4名の合格者が相馬原駐屯地を訪れ、駐屯地見学は当初、陸上自衛隊の概要説明から始まり、駐屯地に勤務する若手隊員との懇談、施設及び航空機等の見学が行われました。懇談では、隊員に対し合格者から多くの質問が寄せられ、「教育隊はきついですか」といった入隊時の生活模様や訓練内容に関することや、「どの様に職種が決まるのか」など、自衛官としての進路に関するものもありました。



質問を受けた隊員は「教育では大変なこともあるが、同期の仲間が大勢います。同期のみんなと協力して乗り切ることで人間的に大きく成長できました」「職種について適性などで判断される部分も多いが、まずは自分の希望をはっきり持つことも大事だと思います。様々な職種があるので、必ず自分に合った仕事が見つかると思います」など、寄せられた質問に一つ一つ丁寧に答えていました。

懇談の後、合格者は駐屯地内の厚生センター及び広報資料館を見学し、飛行場に移動して航空機等の説明を受けました。合格者からは「自衛官のリアルな話が聞けて良かった」「入隊したらヘリコプターに携わる仕事がしたいと思っていたので、実物を間近で見ることができて感動した」などの声を聞くことができ、入隊前の不安を払しょくするとともに各職種への興味も増した様子でした。

新潟地本は、今後も合格者に向けた駐屯地見学を積極的に実施し、入隊後のイメージを鮮明にすることで入隊意思の向上に繋がるよう努力していきます。